



学校評価の結果がまとまりました

昨年度末、生徒や保護者の皆様からいただいたアンケート等から、本校の教育活動について分析・考察を行い、課題とその改善方法について自己評価を行いました。

またその自己評価については、学校関係者評価委員（学校評議員、PTA役員）8名から、自己評価の適切さの評価と学校へのご意見・ご提言をいただきました。その概要についてお知らせします。

なお、学校関係者評価委員からは「3：自己評価は、適切である」「2：どちらともいえない」「1：自己評価は不適切である」の評価もしていただきました。

1 教務部

【22年度目標】

「家庭学習の習慣を身につけさせる。」

(1) 分析・考察

○家庭学習時間調査によると、調査期間が定期考査前にもかかわらず、生徒が勉強する一日の平均時間は1時間未満であり十分とは言えません。

(2) 課題・提言

○家庭学習時間が短く、予習・復習の習慣も身につけていません。

○平成25年度からの新教育課程の編成を、生徒にとって魅力ある創意工夫したものとしてください。

(3) 改善の方策

○課題や具体的な学習方法の提示などを工夫して、予習・復習の習慣を身につけさせます。

○新教育課程の編成とともに、定期考査、数学・英語の学習確認テスト、農業小テスト、漢字テストなどについて検討をします。

【23年度目標（案）】

家庭学習の習慣を身につけさせます。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.1	2.4	2.3	2.1

2 総務部

【22年度目標】

「学校の情報発信を質的に充実させる。」

(1) 分析・考察

○「石高だより」や「保護者向けメール」の発信で、学校行事についての理解が高まりました。本年度からは、不審者情報の配信も行っています。

(2) 課題・提言

○メール配信の登録者数を増やす工夫が必要です。

(3) 改善の方策

○新学期・入学式・PTA総会など機会をとらえて保護者向けメール配信の案内をします。

【23年度目標（案）】

メール配信の内容の充実を図り、生徒・保護者に有益な情報の提供を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.9	2.7	2.7	2.7

3 生徒指導部

【22年度目標】

「中途退学者の減少を目指す。」

(1) 分析・考察

○出席率は、99%以上の本年度目標にわずかに届きませんでした。ただ、昨年より中途退学は減少しました。

○学校評価アンケートから服装指導について保護者の理解をいただいていることがわかりました。

(2) 課題・提言

○生徒指導は、教職員間の共通理解・協働実践が重要であるとともに、個別の指導における教員の指導力が大切であることから、教員のスキルアップが必要です。

(3) 改善の方策

○生徒の個別指導の充実を図るとともに、保護者との密な連携を推進します。

○生徒が主体となった各種行事を積極的に実施します。

【23年度目標（案）】

中途退学者の減少を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.7	2.6	2.6	2.6

4 進路指導部

【22年度目標】

「進路情報の適切な提供と進路相談による早期の進路実現を目指す。」

(1) 分析・考察

○進路情報の提供や進路指導へは、生徒、保護者ともほぼ満足していますが、就職難への対応やさらに高い進路意識の向上を目指した指導が求められています。

(2) 課題・提言

○生徒に就職難を自覚させ、早期に進路意識を高める工夫をしてください。

○求人数減少による競争激化に対処できるよう、試験に必要な能力の向上を図る取組が必要です。

(3) 改善の方策

○「進路だより」や進路ロングホームルーム等を充実し、適切な進路情報の提供で進路意識を高めます。

○各種テストの実施や面接指導の充実にも努めます。

【23年度目標（案）】

進路情報の適切な提供と進路相談により、生徒の進路意識を高め、早期の進路実現を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
3.0	2.6	2.6	2.7

5 人権・同和教育部

【22年度目標】

「視聴覚教材及び人権作品を効果的に利用した人権・同和教育ロングホームルームの充実を図る。」

(1) 分析・考察

○アンケートから、まだ3割近くの生徒が人権問題を自分自身の問題としてとらえていません。

(2) 課題・提言

○人権・同和教育ロングホームルームについては、生徒の感性を刺激できる工夫や改善が必要です。

(3) 改善の方策

- 効果的なロングホームルームを実施するための教材研究（視聴覚ソフトと提示方法の研究）をします。
- 参加体験型ホームルームを実施します。

【23年度目標（案）】

人権・同和教育ロングホームルームを中心に、人権問題を自分のこととして考える機会を充実させます。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.7	2.4	2.4	2.4

6 特別活動部

【22年度目標】

「生徒が主体的に企画・運営する生徒会活動を目指す。」

(1) 分析・考察

- 学校行事は、生徒、保護者とも「楽しい」「盛んである」との回答が多く見られます。
- 部活動の種類が少なく、生徒から「中学時代の活動が続けられない」などの不満の声が聞かれます。

(2) 課題・提言

- 生徒会役員を希望する生徒が減少し、生徒による活動が停滞する懸念があります。
- 部活動加入者数の増加を目指してください。

(3) 改善の方策

- 学校行事での一人一役運動を実践します。
- 部活動の入部を働きかけます。

【23年度目標（案）】

部活動の加入者減に歯止めをかけ、学校全体が活気づくようにします。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.7	2.6	2.7	2.7

7 環境保健部

【22年度目標】

「基本的な生活習慣の実践能力の向上を目指す。」

(1) 分析・考察

- 健康への関心は低く、心地よい1日を過ごすための健康について広報活動、啓発活動等が不足しています。
- スクールカウンセラーは、グループ面談の実施や広報資料の作成協力などで積極的な活用ができています。

(2) 課題・提言

- 生徒に将来の健康づくりを意識づけてください。
- 環境美化活動に関する意識を高める工夫が必要です。

(3) 改善の方策

- 保健体育の学習とともに、各学年に合った講演及び体験実習等の内容を検討します。
- ごみの分別、校内環境への啓発活動等に努めます。

【23年度目標（案）】

基本的な生活習慣の実践能力の向上を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.7	2.6	2.7	2.7

8 農場部

【22年度目標】

「産業人としての自覚と誇り、勤労意欲を醸成し目標を持って実習に励む生徒を育てる。」

(1) 分析・考察

- 「農業に関する技術の習得や資格の取得について積極的に取り組んでいる」と答える生徒が増えました。
- 持続可能な循環型社会への対応を考えた農業教育実践への取組が足りないと教職員は感じています。

(2) 課題・提言

- 学んだ技術や資格を発揮できる進路開拓に努めてください。
- 持続可能な循環型社会に対応した農業実践のための農場運営にあたってください。

(3) 改善の方策

- 校内での農業実習と校外の職業現場や上級学校、試験研究機関などとの連携を図ります。
- 持続可能な農業の実践農場の実現を目指します。

【23年度目標（案）】

産業人としての自覚と誇り、勤労意欲を身につけ、現実社会へ視野を広げる生徒を育てます。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.9	2.9	2.9	2.9

9 家庭部

【22年度目標】

「学年ごとの教材を精選し指導方法を工夫する。」
「家庭クラブ県連及び四国連盟事務局校として、教師と生徒が協力して責任を遂行する。」

(1) 分析・考察

- 施設実習等の体験が人間の成長につながっている。
- 家庭クラブ活動は、香川県・四国連盟会長校として四国大会や総会・代議員会の運営などに取り組み、生徒が主体的に活躍できていました。

(2) 課題・提言

- 知識に裏付けられた技術が定着できる指導を工夫してください。
- 生徒全体で取り組む家庭クラブ活動を継続してください。

(3) 改善方策

- 生徒が考えて学習する指導方法について検討し、知識や技術が確実に定着できるように努めます。
- 22年度の家庭クラブ活動の経験を今後に生かせるように工夫をします。

【23年度目標（案）】

知識と技術の確実な定着を目指します。
新教育課程をふまえた新しい家庭科の在り方について検討します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
3.0	2.7	2.7	2.7

おわりに

学校評価は、学校が家庭や地域と連携協力して、学校が行う教育活動の改善を行っていくためのものです。

われわれ教職員は、このことをしっかりと自覚し、今回の学校評価の結果をもとに、生徒へのよりよい教育の提供に努めていきたいと考えています。

今後、学校のさまざまな活動については、保護者や地域の方に情報発信を行ってまいりますので、ご意見や感想を学校までお寄せいただきたいと思います。

自由記述の多かった主な内容

【良かったこと】 (記載例)

保護者	
・ 専門教育	・ 専門の勉強ができて将来役に立つと思う。 ・ 実習が充実しており目的意識を持った学校生活を送れていると思う。 ・ 学校で作った料理を家でも作ってくれる。
・ 学校生活全般	・ 自分に合っているようでのびのびと学校生活ができています。 ・ 自分の好きなことややりたいことが明確になり、勉強や作業に対し意欲が出てきたように思う。 ・ 友達や先生方との関係が充実して楽しく学校生活を送れているようだ。
生徒	
・ 専門教育	・ 調理や被服などのことがいろいろ分かって家で使えることもあるので良かった ・ 農業や社会のことについていろいろ知ることができた。 ・ 普通科では学べないことが学べて良かった
・ 資格取得	・ 資格を取ることができた。 ・ さまざまな資格取得にチャレンジでき、履歴書に書けることが嬉しい。
・ 学校生活全般	・ 友達ができた。 ・ クラスでいじめがないこと、クラスみんなで仲良くできている

【期待すること】 (記載例)

保護者	
・ 特別活動	・ 部活動入部者が少ないのもっと活気ある活動を期待する。 ・ もう少し部活動の数を増やして欲しい。 ・ 文化祭の内容を充実する。
・ 進路指導	・ 社会全体を観て行動できる社会性のある若者に教育して欲しい。 ・ 進学率を上げる勉強も力を入れて欲しい。 ・ 将来農業を担っていく志を持つ生徒が増えることを期待する。
・ 学校環境	・ 冷暖房設備の充実、是非とも願います。 ・ 生徒達にとって安心して学習できる学校であって欲しい。
生徒	
・ 学校環境	・ クーラーをつけて欲しい。 ・ 冷暖房設備が欲しい。 ・ 自販機をもっと増やして欲しい。 ・ 食堂のメニューを多くして欲しい。
・ 生徒指導	・ 制服を変えて欲しい。 ・ カッターシャツにして欲しい。 ・ 携帯持ち込みOKにして欲しい。
・ 特別活動	・ 部活動を増やして欲しい。 ・ 部活動がもっと活発化してもらいたい。 ・ 学校行事をもっと生徒の意見を取り入れて欲しい。